

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2024年 1月 24日

事業所名： エントランス えぶりい

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|---|---|--|--------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | ・ソーシャルディスタンスを保ちながら、定員に応じたスペースの確保をする。 ・活動内容に適した空間の使用と職員の配置を行う。 | ・限られたスペースの中で、工夫して活動できていると思います。 ・室内に入る機会がない為 ・活動時の様子を見ていないので、どちらとも言えません。 ・基準が不明なので判断できませんでした。 | ・活動内容や安全確保を行った上で構成する。 |
| | 2 職員の適切な配置 | ・スタッフ1名につき利用者1～3名の支援体制。 ・正職員2名、非常勤職員11名(言語聴覚士1名、作業療法士1名、公認心理士1名含む)にてスタッフを構成する。 | ・先生がたくさんいて安心です。 ・子供が先生の名前を憶えてこないことが少し不安です。人の名前を覚えて呼ぶ、話してくれる事がありません。 ・把握できておらずわからない ・基準が不明なので判断できませんでした。 | ・現状を維持する。 ・必要に応じて安全確保が出来る配置に変更する。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | ・安全に安心して活動ができるような環境設定と動線に分かりやすい設定を行う。 | ・室内に入る機会がない為 (はい:37 どちらでもない:1 いいえ:0 わからない:8) | ・現状を維持する。 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | ・室内の換気、共有スペース(家具や床など)、共有物(玩具や遊具など)の洗浄、アルコール消毒を利用ごとに徹底して行う。 | ・室内に入る機会がない為 ・いつも活動時間外に先生達が細かい部分まで隅々までお掃除しており、清潔に下さっています。 (はい:42 どちらでもない:2 いいえ:0 わからない:2) | ・現状を維持する。 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | ・日報にフィードバックを追加して職員共有できるようにしている。 ・利用ごとの振り返り、月に1度の全体ミーティングにおいて、利用状況や課題などをスタッフ間にて共有を行う。 | | ・現状を維持する。 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | ・シーアイ・パートナーズさんによる業務方法や改善点の相談を行う。 | | ・必要に応じて相談を受ける。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | ・外部研修を周知し、参加をする。 ・外部研修の内容を社内にて共有をする。 | | ・現状を維持する。 |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | ・利用時の対応や要望書にて保護者のニーズを確認し、スタッフ間にて検討を行い、支援計画に反映する。 | (はい:40 どちらでもない:4 いいえ:0 わからない:2) | ・現状を維持する。 |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | ・児童発達支援・放課後デイのガイドライン、学校教育法に沿った領域別での個別支援計画の作成を行う。 | ・気になっていた手先の不器用さの部分が伸びていない(他はよくできています) (はい:41 どちらでもない:3 いいえ:0 わからない:2) | ・現状を維持する。 |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | ・個別の評価・実態を把握し、保護者の目標や年齢に沿った必要と思われる力の到達に向けて硬い設定をした支援計画を作成する。 | ・利用してから子どもの成長がすごいので、めっちゃ嬉しいです。 ・いろんな活動をしてきているのでめっちゃありがたいです。 (はい:42 どちらでもない:2 いいえ:0 わからない:2) | ・現状を維持する。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|--------------|--|--|--------|--------------------|
| 適切な支援の提供(続き) | 4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | ・児童発達管理責任者や正職員の下、個別支援計画に基づいた課題を共有し、支援の方法や関わり方を具体的に実施する。 | | ・現状を維持する。 |
| | 5 チーム全体での活動プログラムの立案 | ・正職員にて活動内容の検討を行い、全スタッフにて情報共有及び再検討をし、活動内容を組み立てる。 ・研修や考察により活動内容の再構成を行い、日々改善を行う。 | | ・現状を維持する。 |
| | 6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | ・毎利用時の対応の中で個別に提案をする。 ・利用者の人数、グループによって活動内容を編成し、個々の支援目標を達成しているよう観察、支援を行う。 | | ・現状を維持する。 |
| | 7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | ・その日の子ども達の様子や成長に応じて、プログラムの時間割や活動の内容の変更を行う。 | | ・現状を維持する。 |
| | 8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | ・療育開始前に打ち合わせをし、活動での役割分担や配慮事項について確認をする。 | | ・現状を維持する。 |
| | 9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | ・療育後の打ち合わせにて療育の振り返りをし、子ども達の様子、保護者からの連絡や要望の共有を行い、次回の目標設定の参考にする。 | | ・現状を維持する。 |
| | 10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | ・療育内容、子どもの様子、保護者の連絡事項を日報として記録し、スタッフ間で情報共有する。 | | ・現状を維持する。 |
| | 11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | ・毎利用時の子どもの様子を保護者と共有し、支援の内容を確認する。要望や目標に変更が生じた場合は支援計画を再検討する。 | | ・現状を維持する。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--|--|---------------------------------|----------------------|
| 関係機関との連携 | 1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画 | ・サービス担当者会議に出席し、スタッフとも情報共有をする。 | | ・現状を維持する。 |
| | 2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | ・該当者なし。 | | |
| | 3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | ・該当者なし。 | | |
| | 4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | ・保護者よりの依頼や必要と感じた際には、保護者と相談の上、希望に応じて行う。 | | ・現状を維持する。 |
| | 5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | ・保護者よりの依頼や必要と感じた際には、保護者と相談の上、希望に応じて行う。 | | ・現状を維持する。 |
| | 6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | ・必要な研修は周知し、参加を奨励する。 | | ・現状を維持する。 |
| | 7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | ・コロナ禍の為、今年は実施予定なし。 | | ・現状を維持する。 |
| | 8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | ・コロナ禍の為、今年は実施予定なし。 | | ・地域とのコミュニケーションの場を作る。 |
| 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | ・初回利用時の重要事項説明にて実施する。 | (はい:38 どちらでもない:7 いいえ:0 わからない:1) | ・今後も丁寧に説明していく。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------------|--|---|--|--------------------------|
| 保護者への説明責任・連携支援 | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | ・毎利用時の保護者対応時、個別面談時に実施する。 | (はい:34 どちらでもない:7 いいえ:1 わからない:3) | ・今後も丁寧に説明していく。 |
| | 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | ・必要と感じられた場合は、親子の個別療育を実施する。 | ・利用してから日が浅いのでわからない (はい:23 どちらでもない:5 いいえ:7 わからない:10 未回答:1) | ・必要な利用者、保護者に提供していく。 |
| | 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | ・毎利用時の連絡ノートや保護者対応にて実施する。 | ・いつも今日した活動内容を伝えてくれ、子供がどんな風に過ごしたか丁寧に伝えて下さいます。 ・様子をとても丁寧に教えて下さって助かっています。 (はい:43 どちらでもない:3 いいえ:0 わからない:0) | ・現状を維持する。 |
| | 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | ・毎利用時の連絡ノートや保護者対応にて実施する。 ・必要な場合は個別面談を実施する。 | ・面談はないですが、日頃から育児に関する助言をたくさんして頂いております。 (はい:38 どちらでもない:4 いいえ:2 わからない:2) | ・現状を維持、丁寧な支援をしていく。 |
| | 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | ・年1.2回程、親子イベントの開催している。 | ・送り迎えの時にあいさつはしますが、自分の子ども以外の子ども達の名前は分からない状態です。 ・活動実態を把握しておらず ・利用してから日が浅いのでわからない (はい:9 どちらでもない:7 いいえ:16 わからない:15) | ・イベントの開催を増やしていく。 |
| | 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | ・苦情処理対応については、連絡先・対応手順等掲示。 | ・実際対応している場面を見ていないのでわかりかねますが、日頃から丁寧な対応なのでして下さると思っています。 ・今のところ、そのような場面がないのでわからない。 ・今まで不満や苦情がないので分かりません。(対応はいつも丁寧にさせて頂いています。) (はい:27 どちらでもない:5 いいえ:0 わからない:15) | ・現状を維持する。 |
| | 8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | ・掲示物や冊子の展示をする。 | (はい:43 どちらでもない:1 いいえ:0 わからない:2) | ・現状を維持する。 |
| | 9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | ・えぶりだよりを毎月発行。 | (はい:40 どちらでもない:3 いいえ:0 わからない:3) | ・内容の改善を行い、ニーズに合う情報提供を行う。 |
| | 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | ・利用者、職員共に契約時に個人情報使用に関する同意書を取り交わしている。 | (はい:39 どちらでもない:2 いいえ:2 わからない:3) | ・現状を維持する。 |
| | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | ・各対応マニュアルについては、作成し運用中。警報発令時の対応については連絡帳にプリントを添付。変更時には再配布を行っている。 ・個人情報の取り扱いについては鍵付きロッカーを使用し、施錠の徹底を行っている。 | (はい:41どちらでもない:2 いいえ:0 わからない:3) | ・今後も丁寧に説明していく。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|------------------|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練12回/年 集団療育の時に実施する。 ・保護者とは防災用のメール訓練を年1回、1月に実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動実態を把握しておらず ・利用してから日が浅いのでわからない (はい:33 どちらでもない:2 いいえ:0 わからない:11) | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に様々な避難訓練の実施と改善を行う。 |
| | 3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止・虐待時対応マニュアルを作成、運用中。支援員全員にむけて「虐待防止チェックリスト」をつかって自己評価を実施する。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・事例を挙げ、MTの際に職員間で検討し、マニュアルの再編成を行う。 ・利用者の中での虐待事案を福祉と連携しサポートしていく。 |
| | 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も実施しない。 |
| | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの周知と対応を職員間で情報共有。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・現状を維持する。 |
| | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例があればミーティングで事業所内スタッフで共有し、法人に報告。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・現状を維持する。 |
| | 満足度 | 1 子どもは通所を楽しみにしているか | <ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶことを通して、教育要領に沿った年齢毎の「つけたい力」を目標に、様々な経験をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行くのを嫌がる事もありますが、いつも楽しかった！と解離に話してくれます。 ・すごく楽しみにしていて行かない日は「なんでいかないの？」と言うぐらいです。 ・子ども本人の問題みたいです。(どちらでもない) (はい:39 どちらでもない:6 いいえ:1 わからない:0) |
| 2 事業所の支援に満足しているか | | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の悩みや疑問を保護者と一緒に解決しながら、育ちの保障をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・午前10時～12時 時間を3時間などもう少し長くなると嬉しいです。保育園がいつも早いので子どもが外に出たくてグズルことが多いので・・・ ・療育を利用した事で出来る事が増えて言葉もそこ出てきたのでめっちゃ満足です。 ・とても満足しています。いつも本当にありがとうございます。 (はい:42 どちらでもない:4 いいえ:0 わからない:0) | <ul style="list-style-type: none"> ・現状を維持する。 |